

第1682回例会

9月25日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. クラブフォーラム

テーマ「職業倫理運動である」

2. 出欠

出席35名 欠席24名

出席率59.38% ビジター2名

3. 来訪者(敬称略)

金沢西RC 荒川勝治

みなとRC 増江博夫

4. 幹事報告

・ぬくもりの木道づくり

9月27日(土) 10:30~ 医王の里にて

ニコニコボックス

磯野(洋)、中村(實)君

来週10月2日(木)は、いよいよ35周年記念例会です。田中毅先生のお話を伺い、金沢北ロータリークラブの進むべき方向を見つけましょう。

瀧川君 本日はクラブフォーラムです。35周年例会に生かされる、活発なご意見をお願い致します。

辻君 水害の見舞金を戴きまして、有難うございます。

木下君 金沢北RC麻雀大会に、総合優勝させて頂きました。日本人移住百年記念を祝して。

ブラジルへ、少年団サッカーを連れて14日間遠征してきました。

9月26日から、全州市へ成年サッカーを連れて親善試合に行ってきます。全州市長が大きく取り上げて、三都市トライアングル交流の話を進めていきたいと思ひます。

合計18,000円(累計150,000円)



第1683回例会 創立35周年記念例会

10月2日(木) 晴れ 17:00~21:00 松魚亭

1. 《例会》

点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

物故会員を偲んで

磯野洋明会長挨拶

チャーターメンバーへ記念品贈呈

記念講演講師紹介

記念講演 尼崎西RC 田中毅君

質疑応答

謝辞

閉会の点鐘

《懇親会》

開会挨拶 磯野洋明会長

ご祝儀 篠笛 藤舎眞衣氏

乾杯 安宅会長エレクト

チャーターメンバーから一言

俵外代吉君

米澤修一君

大村精二君

閉会の挨拶 島副会長

ロータリーソング「手に手つないで」

点鐘

2. 出欠

出席43名 欠席16名

出席率72.88% ご夫人17名

ニコニコボックス

有志より 合計54,000円(累計204,000円)

講話予定

10月16日(木)

米山奨学生

10月23日(木)

中田龍一君・小泉幸雄君



会長: 磯野 洋明

会長エレクト: 安宅 雅夫

副会長: 島 善昭

幹事: 中村 實博

副幹事: 汐井 俊彦

S A A: 中村 芳明

会計: 中田 龍一

広報委員長: 小泉 幸雄

会員数: 60名

クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30

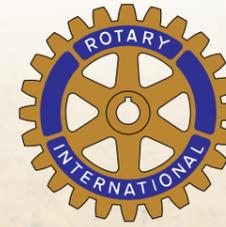
例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882

E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp



金沢北ロータリークラブ



金沢北ロータリークラブ

創立35周年記念例会の開催とこれからの運営方針

会長 磯野 洋明

昭和48年10月3日、金沢東ロータリークラブをスポンサークラブとして、38名の会員により創立された金沢北ロータリークラブは、35年の歴史を数えることになりました。

今の状況は、多くの会員の入れ替わりとともに、創立当時の輝かしい活動や記憶は薄れ、厳しい世の中の変遷と共にロータリーの目指すべき方向性にも、明確さが不足しているように感じます。

創立35周年に当たり、本来ならば世の一隅を照らす事業を成すべきところですが、節目のこのときを、あえて一度立ち止まり脚下を照光し、当クラブの進むべき方向を見定める一年にしたいと思い、一年間のクラブのテーマを「ロータリークラブとは何か」と題して、会員の皆様のご理解ご協力をお願い致しているところです。

そろそろ、金沢北ロータリークラブの目指すべき方向性、会員相互のベクトルを合わせる作業に入らなければなりません。そのためのアドバイザーとして、記念例会には尼崎西ロータリークラブの会員であり、第2680地区のバスターガバナーであります、田中 毅 先生をお迎え致しました。

田中先生は「ロータリーの源流」というウェブサイトを開設、全国各地でセミナーを主宰し開催しております。今回のご講演は「職業奉仕その実践」と題して、我々の疑問に答えて頂き、ロータリークラブの本

来の目的や、あるべき姿をお話下さいました。ロータリーの目指すべき高い志やその目的と、現実の実業の間にあって悩み、日一日と無為に時の過ぎゆくもどかしさを実感している私たちには、難題が山積です。しかし、何時までもこのままで先延ばしが許されるものではないようです。60名の会員が一つに同じ考えを持つことは出来ませんが、せめて目指すべき方向性を共有して、ベクトルを合わせる努力をしなければなりません。先生のお話をこの上ない水や肥料として私たちは吸収し、小さな花で良いから咲かせる努力をしなければならぬと改めて感じました。

田中先生のお話を土台として活かし、7、8、9月と続けてきましたクラブフォーラムでの会員各位の発言の内容を、今一度吟味して皆で共有し、金沢北ロータリークラブはどの様にありたいかを求めていきましょう。

12月いっぱいまでは、方向性を求める時間となるでしょう。その志や目的を表現することができたら、目指すべきものと現実とのギャップとか、改善すべき問題点をはっきりするのではないのでしょうか。その上で目的を達成するために、問題点を吟味し整理整頓する仕事があります。

田中先生のお話の力をお借りしたうえで、会員皆様の、今後なお一層のご理解とご協力をお願いし、創立35周年記念例会を無事終えることが出来ましたことへのお礼の言葉と致します。



ぬくもりの木道づくり

環境保全委員長 横井 清治

テレビ金沢主催の「ぬくもりの木道づくり」が9月27日(土)、金沢市大愛池町の医王の里で行なわれ、そこに我が北ロータリークラブも協賛致しました。

これは、木の道を順次つなげ、車椅子やお年寄りでも森を散策できるバリアフリーな空間作りを広げていくための活動です。4年前にスタートした「ぬくもりの木道づくり」は、昨年「木もれ日の道」270mが予定通り完成し、今年から三年計画で「ササユリの道」240m作りに着手されております。

テレビ金沢の松本斎社長の挨拶で始まり、そのあと床板となるボード(杉の間伐採20cm×2m×5cm)

を各自が購入し、そのボードにある人はプロの実力を遺憾なく発揮し、又ある人は童心に返り、又ある人は子供と競いながら、又ある人は時間の半分を考えに費やししながら、それぞれの思いのメッセージやイラストを描き、木道になる枕木に打ち付ける作業を行いました。その他にフィールドピングや笹ゆりの球根を植える作業も、あわせて行いました。途中昼食をとったのですが天候にも恵まれ、森の中で食べるめった汁や岩魚の塩焼きは特においしく感じました。

〈参加者〉長谷川壘人(奥様)、磯野洋明、川口喜樹、木村功一(ご子息)、杉原光彦、上田忠信、横井清治(敬称順)

